

科目名	感染と免疫 (Infection and Immunity)			科目コード	155
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数 (時間)	1 単位 (30時間)
科目区分	専門基礎科目	履修時期	1 年次後期	関連DP	看②③④
担当教員	北尾 孝司、山田 武司				
授業概要	(北尾教授) 感染症の起因微生物の種類・構造、病原因子、微生物の滅菌・消毒法、化学療法剤の種類、主な病原微生物による感染症について教授する。 (山田教授) 感染防御に関わる免疫システムについて解説する。				
授業目標	病原微生物の種類と特徴を理解し、それらの微生物が引き起こす臓器別感染症の概要を理解する。また、免疫系のしくみと生体防御機構を理解し、感染症患者に対する看護や基礎的知識を通じた感染防止対策・組織的活動について理解し応用力を身につける。免疫系：1. 自然免疫と獲得免疫について説明できる。2. 受動免疫と能動免疫について説明できる。3. ワクチンについて説明できる。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	微生物の種類	①感染症の歴史、微生物の概念、微生物の種類 ②細菌・真菌・ウイルス・リケッチアの形態や性質の違い	北尾孝司
2	細菌の形態と構造 細菌の代謝と発育	①細菌の形態と構造、細菌の染色法 ②細菌の代謝と発育	
3	感染と発病	感染の概念、宿主の抵抗力 (生体防御)、感染と発症、感染経路	
4	常在細菌叢 滅菌と消毒	①常在細菌叢の概念、常在細菌叢の分布、常在細菌叢と感染 ②滅菌と消毒の概念、滅菌と消毒の方法、消毒剤の種類と使用方法	
5	化学療法剤 (1)	①化学療法の概念、化学療法剤の作用機構、化学療法剤の種類 ②βラクタム剤の種類と特徴	
6	化学療法剤 (2)	アミノグリコシド系薬剤、TDMについて、マクロライド系薬剤、キノロン系薬剤、ポリペプチド系薬剤	山田武司
7	免疫系 (1)	感染症に対して働く免疫システム	
8	免疫系 (2)	ヒト免疫不全ウイルス感染症	
9	免疫系 (3)	免疫記憶のしくみ	北尾孝司
10	呼吸器系感染症 (1)	上気道・下気道感染症、肺炎 (市中肺炎・院内肺炎)、非定型肺炎感染症および起因微生物	
11	呼吸器系感染症 (2)	①結核菌による感染症 ②結核の現状と問題点、感染対策	
12	消化器系感染症 (腸管感染症)	組織侵襲型下痢症および毒素産生型下痢症などの腸管感染症および起因微生物	
13	髄膜炎・脳炎 血流感染症	髄膜炎・脳炎、菌血症・敗血症、血流感染症およびの起因微生物	
14	性感染症 尿路感染症、皮膚感染症	性感染症 (STI)、膣感染症、膀胱炎・腎盂腎炎などの感染症、皮膚化膿性炎症、創傷感染症およびの起因微生物	
15	肝・胆道系感染症 病院内感染症と対策	①肝炎、肝膿瘍、胆嚢炎などの感染症およびの起因微生物 ②病院内感染症について、インフェクションコントロールチーム (ICT) の役割	
成績評価方法	次のように配点し評価する。 定期試験 (北尾 80%、山田 20%)		
教科書	南嶋洋一・吉田眞一「系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進④ 微生物学」(医学書院)		
参考図書等	藤本秀士・目野郁子・小島夫美子「病原体・感染・免疫」(南山堂)		
授業時間外の学習について	前回の項目について配布プリント及び教科書等を参考に復習する。次回の項目について教科書等を参考に予習する。		
関連科目	203 基礎看護方法論Ⅰ、205 基礎看護方法論Ⅲ		
備考	実 北尾孝司：臨床検査技師 (検査機関) 北尾：毎回出席カードを兼ねた質問カードを配り次回に解説する。 山田：毎回講義プリントを配布する。		